脳出血
▸ 脳組織の中を走る血管からの出血

脳出血（脳内出血）は，脳組織の内部を走行する血管が破れて出血するものです．

病態

脳出血の多くは
- 高血圧

を背景として起こります．高血圧で脳動脈の血管壁に変化が生じ（中膜の線維化，内弾性板の断裂など），微小な動脈瘤が形成され，ここから出血すると考えられています．このような病変は
- 穿通枝

に生じやすいです（被殻出血，視床出血，脳幹出血，小脳出血の原因血管はいずれも穿通枝）．

このほか，脳出血の原因として
- **脳動静脈奇形**（AVM：arteriovenous malformation），**もやもや病**（若年者）
- **脳アミロイド血管炎**（CAA：cerebral amyloid angiopathy）（高齢者）

などの疾患があります．

脳動静脈奇形

先天的な血管の形成不全で，脳の動脈と静脈が，毛細血管を介さず吻合するものです．動静脈間に異常な血管の塊（ナイダス）が形成され，ここが脳出血の原因となります．

もやもや病

原因不明の内頸動脈終末部の狭窄が生じ，側副血行路として異常血管（もやもや血管）が発達するものです．もやもや血管は破綻しやすく，脳出血の原因となります．

症状

血腫自体や，血腫による脳脊髄液の流路閉塞などで
- **頭蓋内圧亢進**

が生じます．

血腫による脳組織の圧迫により
- **意識障害**（特に脳幹出血で高度，小脳出血では軽度にとどまる）
- **眼位の異常**（イラスト参照）

などがみられます．

発生部位別に，特徴を見てみましょう．

被殻出血

脳出血で最多です．原因血管はレンズ核線条体動脈です．血腫が被殻に隣接する内包〈110〉を圧迫し
- **病変の対側の片麻痺**〈194〉**および感覚障害**

が生じます．

視床出血

脳出血で2番目に多いです．原因血管は視床穿通動脈，視床膝状体動脈などです．
- **病変の対側の感覚障害**

や，片麻痺（内包障害時）が生じます．

脳幹出血

予後不良な脳出血です．橋動脈の破綻による橋出血が多いです．
- **呼吸障害，四肢麻痺**

などが生じます．

小脳出血

原因血管は上小脳動脈です．病変と同側の運動失調が生じ
- **歩行障害**

などの運動の異常がみられます（錐体路の走行に影響しないため，麻痺はみられない）．
- **めまい，嘔吐，激しい後頭部痛**

が生じます．

皮質下出血

大脳皮質と髄質の境界部の出血です．原因血管は皮質枝（穿通枝ではない血管）で，血管腫，AVM，CAAなどを背景とするものが多いです．

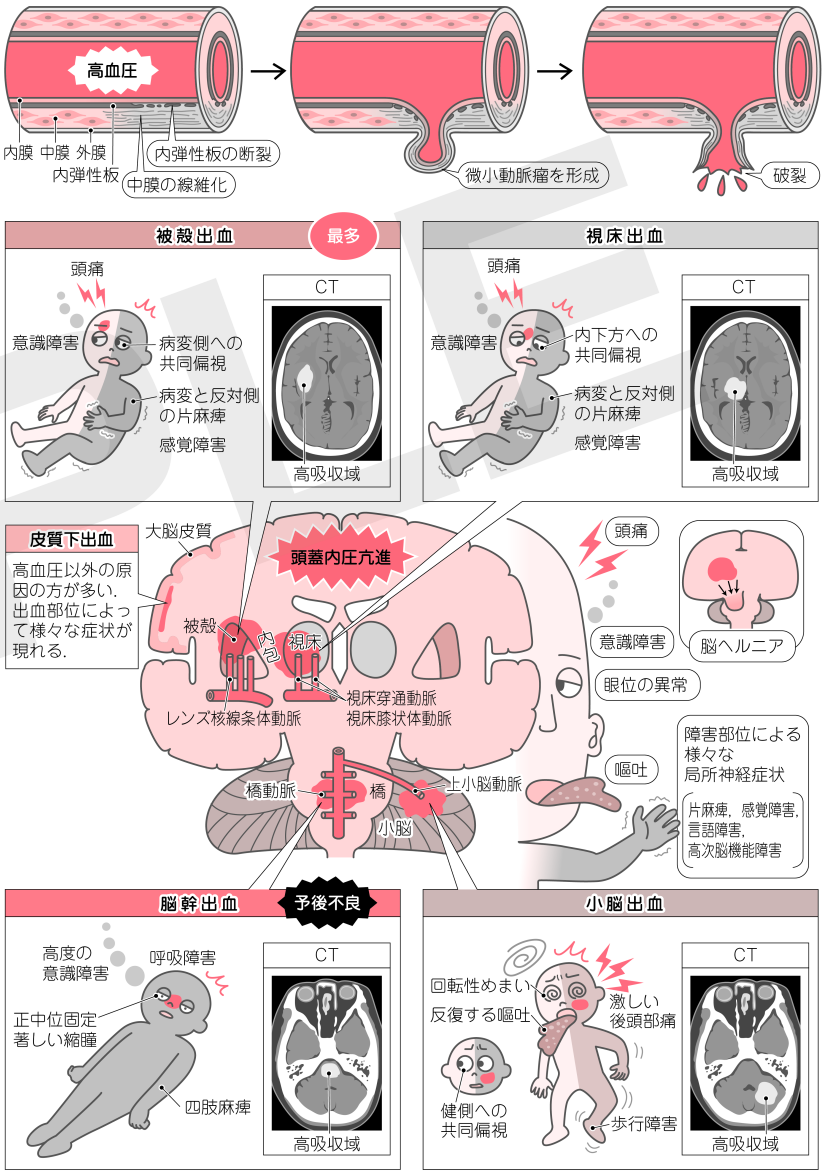
脳出血の診断にはCTが有用です．

検査所見・治療

急性期の血腫は
- CTで高吸収域

として描出されます．

- **手術による血腫除去**
- **血圧管理，抗脳浮腫薬投与**

などの治療を行います．

98 脳出血